

2023年 5月 子育てワンポイント

## テーマ 「子どもの友だち関係」

子どもは成長とともに、一人遊びから友達と一緒に過ごす時間が増えていきます。そんな中、子どもの交友関係を心配される親御さんも少なくないでしょう。



人と関わる基礎となる信頼感は乳幼児期の愛着が土台となります。



### 《0～1 歳児》

声をかけたり微笑みかける事でコミュニケーションを取り親子の心のつながりを築く事ができる。泣いたり笑ったり子どもからの信号を察知し答えるのも愛着形成する上で大切な過程。



### 《1 歳半～2 歳児》

親やきょうだいなど信頼関係のある人と見知らぬ人との判別ができ、人見知りをはじめめる。



### 《3 歳以降》

友達と遊ぶ機会が増え、少しずつ相手の気持ちを理解したり、感情をコントロールしようとする。最初は一人だけで遊んでいたのが、友達のやっている事に興味を持ちはじめものの、自分の思い通りにしたがるなど、物の取り合いなどのトラブルが出てくる。自分の思いを言葉で表現する事も多くなり、色々な経験をする事で、人との距離感や友達が何を嫌がり、どう伝えようと楽しく遊べるかが分かってくる。



### 《4 歳》

思いやる心や自分の気持ちに折り合いをつけようとする。友だちを意識しているからこそ競争心が芽生える。自分の主張が強くなる為、子どもの話に耳を傾け、言い分をしっかりと聞く事が大切。



### 《5 歳》

集団行動が増え、ルールを守る事の大切さが身についてくる。協調性や自主性が身につく時期ですが集団の輪に入れなかったりうまく関われない事もある。しかし自分の世界を楽しんでいる場合もあるので、子どもの話を聞き強制する事なく子どもの主張を理解してあげると良いですね。

- ①周りとの関係づくりが苦手な子へは子どもの意見や個性を尊重しながら友達と遊ぶ楽しさを少しずつ教えていく。
- ②子どもの話に耳を傾け話し合う機会を持つ。
- ③ままごと遊びや会話のやり取りを通して、友だちと関わる楽しさを少しずつ知らせていく。コミュニケーション力も育ってくる。



終わりに、友だちとの関りについては小さい頃からの大人の関わりがとても重要です。関わる楽しさを伝えつつ思いやりの気持ちが持てるよう関わっていきたいですね。